

# 協同の力で築く 「多彩な農業」と「元気な地域」

JA多気郡では、【協同の力で築く「多彩な農業」と「元気な地域」】を大きなテーマとして位置付け、  
中期経営計画に「農業所得の増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の  
3つを掲げ、自己改革に取り組んでいます。

農業所得の  
増大

農業生産の  
拡大

地域の  
活性化



## JA多気郡は 自己改革に取り組んでいます

——（令和2年度 実績報告）——





# JAの主人公は組合員のみなさん

食と農を基軸として地域に根ざした協同組合（JA）は、同じ目的や志を持った人々が集まり、組合員となることで成り立っている組織です。正組合員は、農畜産物の生産や販売、生産資材の購買などに協同の力で取り組むことで、豊かな農業を育むことができます。そして、消費者に安全で安心な農畜産物を届け、わが国の食と農を守っています。地域の農業を豊かにすることは、地域の元気にもつながります。農業を通じて地域を豊かにする主人公、それがJAの正組合員です。

## 准組合員は地域の農業を豊かに

農業に直接的には関わる人があまりない人々でも、JAの事業を利用することで「准組合員」となることができます。JAには、信用や共済、ガソリンスタンド、高齢者福祉などさまざまな事業があります。これらは利用すれば、地域でより暮らしやすくなる事業ばかりです。また、地域の農業を豊かにするためには、生産者だけでなく、農畜産物を食べる消費者の理解も必要だと思います。准組合員は、単にJAの事業を利用するだけの人々ではありません。正組合員と共に食を通じて農業を育み、豊かな地域社会を築くJAの大切な仲間なのです。JAの主人公として、正組合員と准組合員が共に手を取り合い、食と農を通じて地域を豊かにしていきましょう。

JA多気郡は、総合事業で組合員・地域の皆様に必要とされるJAであり続けるために、組合員・地域の皆様とともに一歩先を目指し、「農業所得の増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標として自己改革に取り組んでいます。

## 総合事業の意義

JAは、下記のように、多様な事業を総合的に展開することで、地域農業の振興や地域づくりに努めています。農業関連事業は、信用事業や共済事業などを含めた総合事業だからこそ、営農指導員の配置や大規模な農業施設投資を実現できています。

### 営農指導事業



営農に関する技術指導や相談等、組合員の営農支援のための活動を行っています。

### 農業経営事業



担い手が不足する地域の農地を中心に農業経営、農地維持を行っています。

### 利用事業



個人では所有できない大規模な乾燥設備や搾油施設を利用できるように設備運営しています。

### 生活指導事業



組合員のライフスタイルに合わせたくらしの活動を提案し、地域の活性化に取り組んでいます。

### 販売事業



市場に有利販売ができるよう、農産物をまとめた数量で売る「共同販売」を行っています。

### 購買事業



農業や生活に必要な安全で品質のいい資材を大量購入等で安価に仕入れ、安定的に供給しています。

### 信用事業



地域の金融機関として、貯金・融資・為替業務などの金融サービスを提供しています。

### 共済事業



助け合いの理念に基づき「ひと・いえ・くるまの総合保障」を提供しています。



## 事業実績の推移

（単位：千円）

|           | 平成28年度    | 平成29年度    | 平成30年度    | 令和元年度     | 令和2年度     |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 信用事業総利益   | 870,699   | 844,714   | 976,253   | 897,274   | 919,913   |
| 共済事業総利益   | 500,806   | 513,702   | 494,155   | 461,419   | 461,787   |
| 購買事業総利益   | 385,349   | 360,907   | 370,547   | 352,109   | 341,877   |
| 販売事業総利益   | 76,033    | 81,014    | 86,773    | 56,026    | 54,646    |
| その他事業総利益  | 63,858    | 75,329    | 86,413    | 92,947    | 94,610    |
| 事業総利益(合計) | 1,896,746 | 1,875,668 | 2,014,142 | 1,859,777 | 1,872,835 |
| 事業管理費     | 1,753,481 | 1,697,769 | 1,674,357 | 1,676,283 | 1,587,940 |
| 事業利益      | 143,265   | 177,898   | 339,785   | 183,493   | 284,894   |
| 事業外損益     | 58,000    | 51,147    | 52,799    | 56,668    | 52,858    |
| 経常利益      | 201,265   | 229,046   | 392,584   | 240,161   | 337,753   |

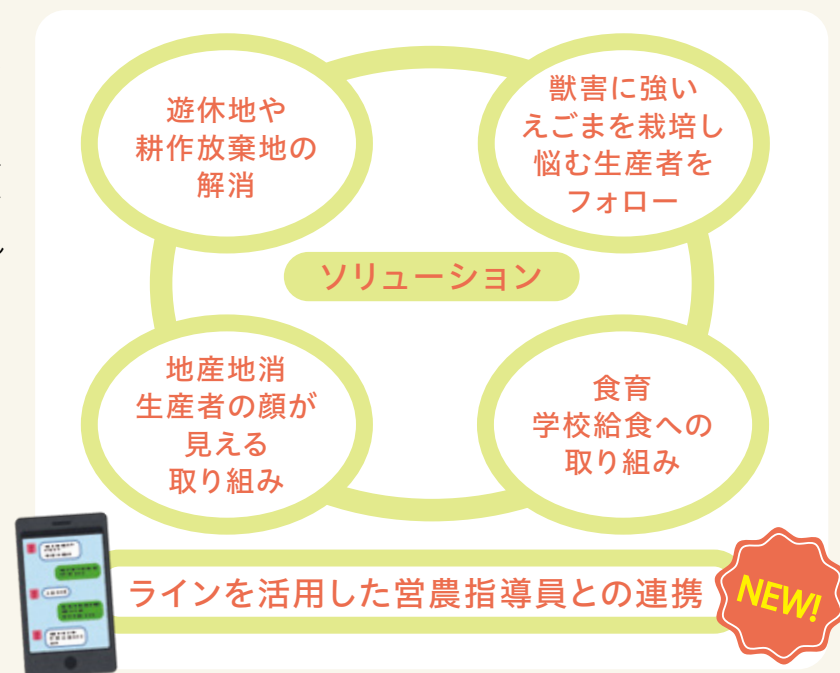
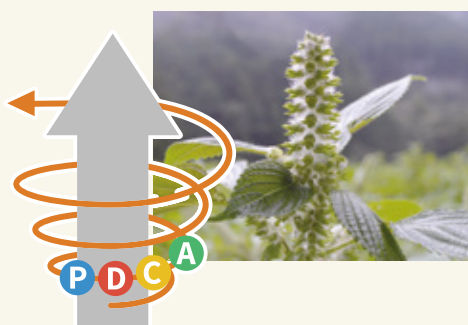


# JA多気郡の自己改革

## ⅠⅠⅠ 対話からはじまるソリューション(問題解決)

### ソリューションからイノベーション(地域革新)へ 奥伊勢えごま倶楽部

えごまの生産振興、農業所得の増大と安定を目指し、平成28年度に発足した「奥伊勢えごま倶楽部」は、遊休地の解消を目指し、獣害にも強いえごまの生産をすることでの地域社会における様々な問題解決に取り組んできました。



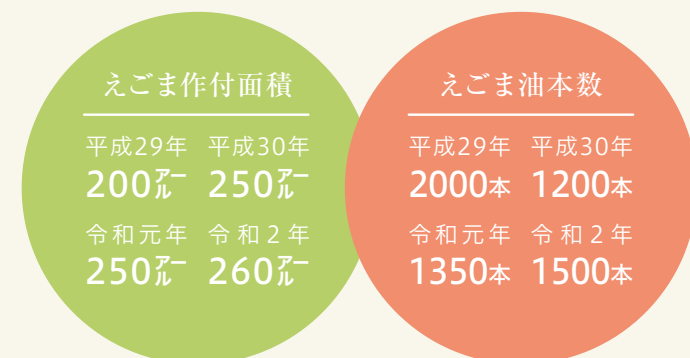
## ソリューション(問題解決)

### 遊休地や耕作放棄地の解消

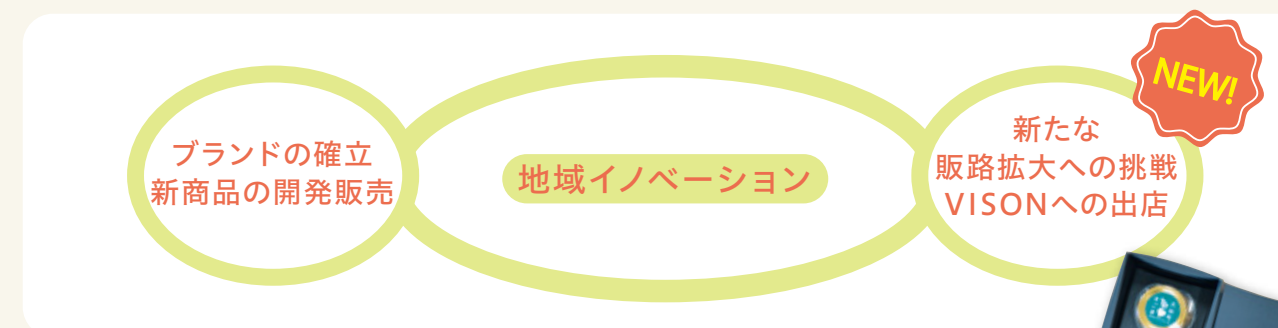
多気郡大台町は山間地域における後継者、次代の担い手不足の解消のため、生産の安定と高い付加価値を創造できるえごまの栽培を開始。獣害にも強いメリットを生かし、獣害に悩む生産者の問題点を解決してきました。

また、大台町内小中学校の学校給食で「えごま油」を提供、栄養教諭に考えていただいた「えごまドレッシングサラダ」は、食べやすいと子どもたちにも好評。えごまに関する講義を行い、子どもたちがえごまについて調べて発表するなど食育にも貢献しています。

その他、病害虫が発生した際にLINEを使用した生産者間の情報共有や、営農指導員による適切な対処指導を受けるなど、SNSを活用した新しい試みにも取り組んでいます。



## イノベーション(地域革新)



### 沿革

|        |                       |                  |
|--------|-----------------------|------------------|
| 平成28年度 | 奥伊勢えごま倶楽部の発足          | えごま油の発売開始        |
| 平成29年度 | えごま油搾油所の新設            |                  |
| 平成30年度 | えごま葉茶緑茶ブレンド           | えごま葉茶ほうじ茶ブレンドの発売 |
| 令和元年度  | 有機栽培の大台茶を使用したえごま葉茶の発売 |                  |
| 令和2年度  | えごまの実(瓶入り・袋入り)の販売     |                  |



### 販路の拡大

平成28年度当初よりJA多気郡スマイル多気・スマイル明和、JA多気郡奥伊勢営農センター川添をはじめとして、奥伊勢パーキングエリア、道の駅奥伊勢おおだい、奥伊勢フォレストピアへと販路を拡大してきました。また、集客力の高いVISONへの出店が確定し、拡販効果が期待されています。

### 広報誌はばたき えごまレシピの掲載

野菜ソムリエによるオリジナルレシピを掲載し、えごま油の販促にも繋げています。

### えごま油となばなの白和え

- 《材料 二人前》
- えごま油 …………… 小さじ2
  - なばな …………… 100g
  - 木綿豆腐 …………… 150g
  - にんじん …………… 30g
  - まいたけ …………… 30g
  - めんつゆ(三倍濃縮) …… 小さじ1

#### 《作り方》

1. キッチンペーパーを2枚重ねにして豆腐を包み、耐熱皿にのせ、ラップをせずに電子レンジ500wで1分30秒加熱する。
2. にんじんとまいたけは細切りにし、それぞれ電子レンジ600Wで1分加熱する。
3. 鍋に湯を沸かし、なばなの茎を1分ゆでたあとに穂先を入れてさらに30秒茹でる。
4. ゆであがったなばなは、すぐに冷水にとって冷ます。冷めたら水気をしぼり、2センチぐらいに切る。
5. ボウルに1の豆腐を入れ、泡立て器などで潰しながら混ぜる。なめらかになったら、めんつゆを加えて混ぜ合わせ、なばな、にんじん、まいたけ、えごま油を加えてあえる。
6. 器に盛って出来上がり。

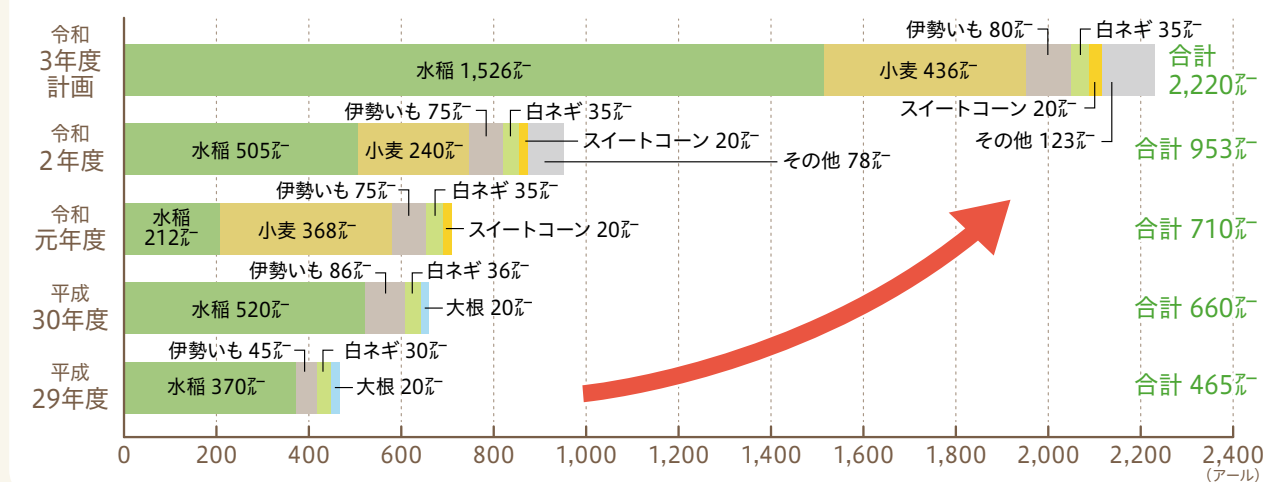


# JA多気郡の自己改革

## JA出資型法人の取り組み



令和2年度で4期目を修了した「株式会社多気郡アグリサポート」の取り組みは、着実な活動内容から多くの成果をあげてきました。行政機関や農業大学校と連携しながら新規就農者の育成や新たな農地形成など地域農業をリードする役割を担っています。令和3年度には人員増強を予定しており、さらなる成果をあげられるよう地域の期待に応え、地域農業を支える多様な担い手支援に努めて参ります。



### 農地受託 明細

|        | 受託者人数 | 圃場数 | 面積      |
|--------|-------|-----|---------|
| 平成29年度 | 14人   | 50  | 54,759㎡ |
| 平成30年度 | 19人   | 67  | 71,413㎡ |
| 令和元年度  | 22人   | 71  | 74,869㎡ |
| 令和2年度  | 25人   | 92  | 95,333㎡ |

## 三重県農業大学校の実習生受け入れ

「株式会社多気郡アグリサポート」では、三重県農業大学校の委託により実習生の受け入れを実施、様々な実習体験と研修を行い、即戦力となりうる担い手の育成に努めています。同校卒業後には多気郡管内での就農を希望される方もあり、農地の確保をはじめとする様々な支援を継続して行なっています。  
※令和3年度も受け入れ予定です。



三重県  
農業大学校

(株)多気郡アグリサポート/  
JA多気郡

三重県  
ほか地方自治体

## 「農業所得の増大」「農業生産の拡大」への挑戦

### 部門連携で農業金融支援

農業融資担当者による、農業者への訪問を通じ、資金ニーズの把握と共に顧客満足度向上に取り組みました。また、営農経済部門の担当者(TAC)や渉外担当者と連携し、農業者ニーズに合った資金を迅速に提供できるように取り組んでいます。

|          | 平成29年度   | 平成30年度   | 令和元年度    | 令和2年度    |
|----------|----------|----------|----------|----------|
| 農業資金実行件数 | 75       | 92       | 91       | 95       |
| 農業資金実行金額 | 42,491万円 | 52,854万円 | 53,990万円 | 64,023万円 |

総合事業の強みを活かした連携、農家のニーズにあった資金やサービスを迅速に提供



### 事業利用分量配当の実施

農業者の所得向上を目的に、肥料・農薬のご購入金額に応じた組合員への還元として、事業利用分量配当を実施しました。

#### ※事業利用分量配当とは

組合員の事業利用分量に応じて、剰余金を組合員に還元(配当)する方法です。

### 事業利用分量配当



| 実施年月   | 配当金額       | 基準               |
|--------|------------|------------------|
| 令和2年7月 | 9,748,970円 | 肥料・農薬 購入金額に対して3% |

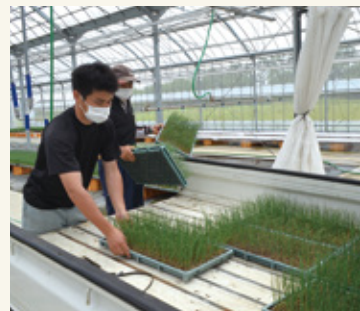


# J A 多 気 郡 の 自 己 改 革

## 就農支援

就農支援として農業資金の支援を行い、意欲のある農業者のサポートを行いました。

| 成果指標   | 平成29年度               | 平成30年度               | 令和元年度                | 令和2年度                |
|--------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 新規就農支援 | 1件<br>青年等就農支援<br>10万 | 3件<br>青年等就農支援<br>36万 | 2件<br>青年等就農支援<br>26万 | 1件<br>青年等就農支援<br>60万 |



## 加工用野菜の生産振興

加工・業務用野菜に対する需要が拡大する中、実需者ニーズに見合った作付品目として「白菜」「カボチャ」「キャベツ」の生産を推進し、農家経営の安定と所得向上に取り組みました。

| 成果指標                        |      | 平成29年度   | 平成30年度   | 令和元年度    | 令和2年度    |
|-----------------------------|------|----------|----------|----------|----------|
| 加工用野菜<br>(白菜・カボチャ・<br>キャベツ) | 生産面積 | 1,797アール | 1,780アール | 1,546アール | 1,357アール |
|                             | 出荷量  | 522.8トン  | 849.0トン  | 848.5トン  | 683.8トン  |
|                             | 販売高  | 2,278万円  | 3,605万円  | 3,628万円  | 3,009万円  |
|                             | 出荷者数 | 52人      | 50人      | 37人      | 29人      |

## 「スマート農業」の取り組み

農業の現場では依然として人手に頼る作業が多く、省力化や負担の軽減が重要な課題となっています。最新鋭の農機（農業用ドローン）を駆使した「スマート農業」を活用することにより、農作業における省力・軽労化を更に進め、新規就農者の確保や栽培技術力の継承等が期待されます。



## 新型コロナウイルスへの対応

新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けている農業者の皆さまに対する融資対応を実施しました。

実績件数18件      融資額総額    17,267万円

## 広報活動の積極的PR

毎月発行の「広報誌はばたき」を軸として、組合員の活動や農畜産物の紹介など様々な情報発信に努めてきました。ホームページでは、JA多気郡サイトを閲覧する訪問者数、閲覧ページ数が年々増加しており、能動的な活動内容を裏付けするデータの一環となっています。

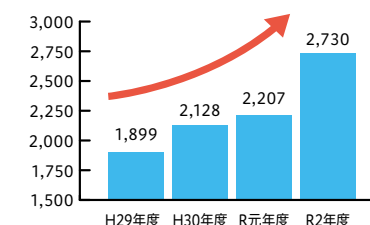


ホームページ



アクセス解析データより

HP訪問者数月平均(人)



HP閲覧数月平均(頁)



## 積極的なパブリシティ活動

昨年度に引き続き積極的なパブリシティ活動（マスコミを通じて報道してもらう活動）に取り組んだことで、テレビ等への露出が多くなり、農畜産物やJA事業をPRする機会が増えました。地域住民への訴求による需要拡大が生産者への支援につながるよう、これからも広報活動の積極的なPRに努めて参ります。



NHK「ちょこっと!みえ」で紹介される農産物直売所スマイル多気



生活情報誌「ふあみんぐ」の取材を受ける奥伊勢えごま倶楽部



地域情報誌「Simple」の読者からの人気店に選ばれた「自然の味処すまいる」





# J A 多 気 郡 の 自 己 改 革

## 農産物直売所スマイルの販売拡大

管内の特徴である少量多品目産地における生産者の所得増加に向けて、平成30年4月に「直売課」を新設し、拠点である農産物直売所スマイルの強化に努めているほか、旬の農産物や加工品、惣菜など品揃えの充実、生産者と消費者を繋ぐ集客イベントなどを新型コロナウイルス感染症対策に配慮しながら開催し、販売拡大に取り組みました。また、出荷者への生産履歴記帳や農薬の適正使用指導のほか、新規栽培農家と販売アイテムの増加を図り、端境期に向けたハウス栽培・品目提案を行っています。

| 年間売り上げ金額「50万円以上」の出荷者数の推移 |       |       |       |      |      |
|--------------------------|-------|-------|-------|------|------|
| 平成27年                    | 平成28年 | 平成29年 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 |
| 156人                     | 166人  | 174人  | 196人  | 171人 | 183人 |

| スマイル売上高  |          |          |          |          |
|----------|----------|----------|----------|----------|
| 平成28年    | 平成29年    | 平成30年    | 令和元年     | 令和2年     |
| 4億6632万円 | 4億9570万円 | 4億6150万円 | 4億7182万円 | 5億2734万円 |

| スマイル来店客数 |          |          |          |          |
|----------|----------|----------|----------|----------|
| 平成28年    | 平成29年    | 平成30年    | 令和元年     | 令和2年     |
| 350,361人 | 356,260人 | 333,479人 | 313,456人 | 318,903人 |

## 【SDGs】

日本でも多くの企業や自治体、各種団体、大学などの教育機関が参加しており、JA多気郡としても、地域社会を構成する一員として、組織・事業・経営の革新をはかり、社会的役割を誠実に果たしながら、SDGsの取り組みに努めて参ります。



## 農産物直売所の出荷者支援

農産物直売所「スマイル」では、高齢会員等を対象に商品を出荷し店頭に並べる出荷者支援を継続して行ってきました。これは直売所が高齢会員等の活躍の場となるよう出荷を支援し、農業所得の増大に寄与することを目的としています。集荷実施地区は、スマイル店舗のある明和地区と多気地区で週3回の集荷日に、営農センター職員が自宅や作業場などから商品を受け取り値札シールを貼り商品棚に並べます。これからも高齢生産者などを支える売場づくりを行い、出荷者や店頭に並ぶ品目を少しでも増やし、消費者や生産者に優しい店舗づくりを心掛けていきます。



## 自然の味処すまいる

### 【お持ち帰りメニュー商品の拡充】

新型コロナウイルスにより来店客の減少がみられる中、テイクアウト商品の拡充に努めました。また、真空パック詰めによる「すまいるカレーセット」の店頭販売を開始できるよう準備を進めています。





# J A 多 気 郡 の 自 己 改 革

## 女性部の活動 1

### 手作り防災頭巾

NEW!

J A 多気郡では、東日本大震災から10年となる節目に合わせ、災害時の備品の再点検を実施。これに合わせて女性部から手作りのタオル製防災頭巾100枚の寄贈を受けました。この防災頭巾は本支店窓口やシルバーセンターすまいるに設置し、災害時における利用者の安全確保に活用します。



## 女性部の活動 2

### 抗菌グッズ作り

NEW!

女性部奥伊勢支部では手指消毒用の抗菌ハンドジェルやマスク、部屋のスプレーとして使える抗菌スプレーと、消毒による手指の肌荒れを防ぐアロマ万能保湿ハンドクリームを全て手作りにて作成しました。



## 女性部の活動 3

### 明和支部フレッシュミズの活動

食や農業に関心のある若い女性が集まって作られた組織の“明和支部フレッシュミズ”が、奥伊勢えごま倶楽部のえごま収穫のお手伝いや、地元野菜を使用したシフォンケーキ作りを行いました。



## 女性部の活動 4

### レインボー体操で運動不足解消

健康寿命100歳プロジェクトの一環でレインボー体操交流会を行い、コロナ禍での運動不足解消に努めました。



## 「食」と「農」を基軸とした協同組合活動の展開



地域の未来を担うこどもたちに対し、食を支える農業の役割、農業と生活・社会との関わり、地域の食文化、いのちと健康の尊さなどについて理解を深めてもらうための「食農教育」を関係機関や女性部員、地元農家の皆さんの協力を得ながら実施し、「食」と「農」に対する関心を高め、地域農業への理解促進に取り組みました。

## 栽培等を通じた食農活動

### 種まき



### 枝豆収穫



### さつまいも掘り



### 脱穀学習



### 豆腐作り



### 焼き芋試食会



### 稲わらでリース作り





# JA多気郡は自己

組合員ニーズの把握や対話を重点項目として取り組んでおりますが、コロナ禍において訪問

## ふれあい・地域貢献活動

### 移動スーパー 「JA多気郡おとどけ丸」 の開始準備

令和3年度より移動スーパーを新規導入します。  
冷蔵庫を搭載し、生鮮品や食料品、日用品まで取り揃えています。



### 「子ども安全・安心の店」の認定

三重県警察が認定する「子ども安全・安心の店」として本店と各支店が認定され、地域の子どもたちを守る取り組みを始めました。子どもたちが安心して生活できる地域社会の創造を目的としています。



### ふるさと納税協力で 明和町から感謝状授与

令和2年度のふるさと納税品を取り扱った功績が評価され、明和町より感謝状をいただきました。地元農産物のPRや販路拡大につながっています。



### 清掃活動

地域貢献ふれあい活動として、本支店の周辺道路や海岸などの清掃を行いました。

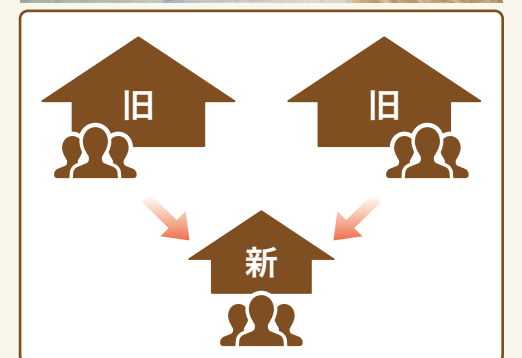


# 改革を継続します。

活動の制約がある中、有効な手法を考慮しながら引き続き自己改革に取り組んで参ります。

## 支店再編による事業再構築

JA多気郡として「農業・地域への貢献」「組合員・利用者へのサービス品質の確保・向上」を継続していくためには、「総合事業経営」を堅持していく必要があります。そのためにもJA多気郡の将来を見据えて「支店・事業所再編などによる事業再構築の実施」に取り組んでいます。令和2年度は、組合員・地域住民のニーズに応え、地域に根ざした事業に取り組むため、「大淀支店」「上御糸支店」と「下御糸支店」が統合され、令和2年5月に「明和北支店」として統合移設オープンしました。また、令和3年9月に「斎宮支店」と「明星支店」を「明和南支店」に統合するため、令和3年2月に起工式を行ったほか、令和4年度には「相可支店」と「佐奈支店」の統合基幹店化及び「勢和支店」の準基幹店化も予定しております。



## 支店統廃合による出向く窓口の強化

支店統廃合に際して組合員への相談体制、訪問活動、次世代層のJA利用促進を強化するために令和元年4月に渉外担当者の取り纏め部署として「ふれあい課」を創設し、令和2年度も引き続き「出向く窓口」として、組合員・利用者の利便性、満足度の向上に努めました。

出向く窓口

ふれあい課

